



案件

八戸港韓国ポートセールス
ミッション2024について

事業主体

主催：八戸港国際物流拠点化推進協議会

- 平成7年8月20日に設立。
- 外航船及び内航船の利用促進による八戸港の国際物流拠点化を図り、地域経済の振興に寄与することを目的として活動している。

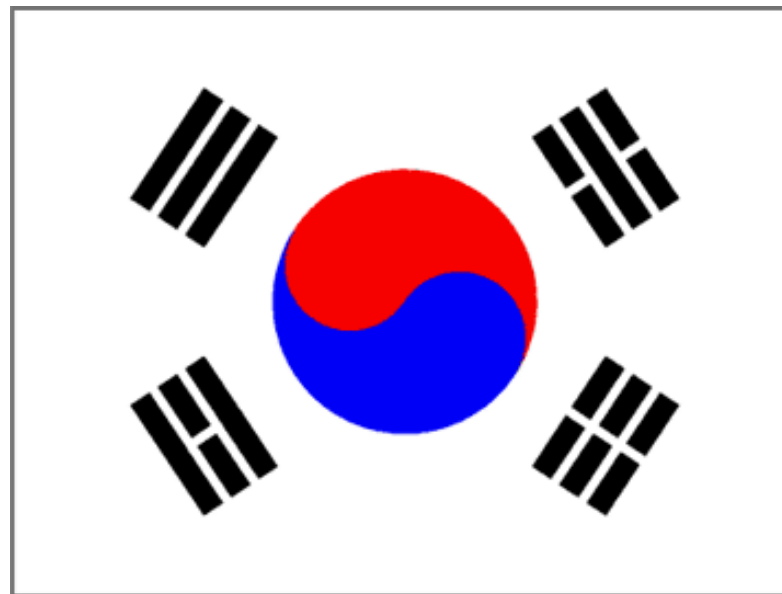
共催：八戸市

期間

令和6(2024)年1月15日(月)~1月18日(木)

訪問国

大韓民国(ソウル・釜山^{プサン})



・ソウル特別市 → 8回
(平成11・16・20・24・26・28年、令和元・6年)

・釜山広域市 → 6回
(平成11・16・20・24年、令和元・6年)

■ 主な目的

韓国船社（4社）

就航



ポートセールス
(船会社への港湾PR・ハブ港湾視察)



八戸港の利用促進・利便性向上

参加者

計16名

【団長】

八戸港国際物流拠点化推進協議会
会長（八戸市長） 熊谷 雄一

《参加団体》

- ・八戸港国際物流拠点化推進協議会構成団体
青森県、八戸市、八戸商工会議所、
八戸港振興協会、物流関係企業、金融機関
- ・貿易関係団体

(1) 船社訪問

○ 目的

現在航路サービスを展開する韓国船社
に対して航路サービスの維持・拡充に向
けた八戸港のPRを行うほか、現在の海運
状況や今後の見通しについて意見交換を
行う。

(1) 船社訪問

ソウル市

○ 訪問先

現在航路サービスを展開する韓国船社(4社)

船社名	航路開設日	八戸港 寄港曜日	前回訪問
南星海運(株)	H10.8.29	月	令和元年度
高麗海運(株)	H30.10.31	月	訪問歴なし
長錦商船(株)	H27.10.27	火・土	令和元年度
興亜LINE(株)	R元.5.17	火・土	令和元年度

■ 八戸港のコンテナ貨物取扱状況

令和4(2022)年のコンテナ取扱量

《速報値ベース》

51,472TEU

全体の約65%以上

外航航路
(韓国船社)

33,843TEU

内航航路
(国際フィーダー航路含む)

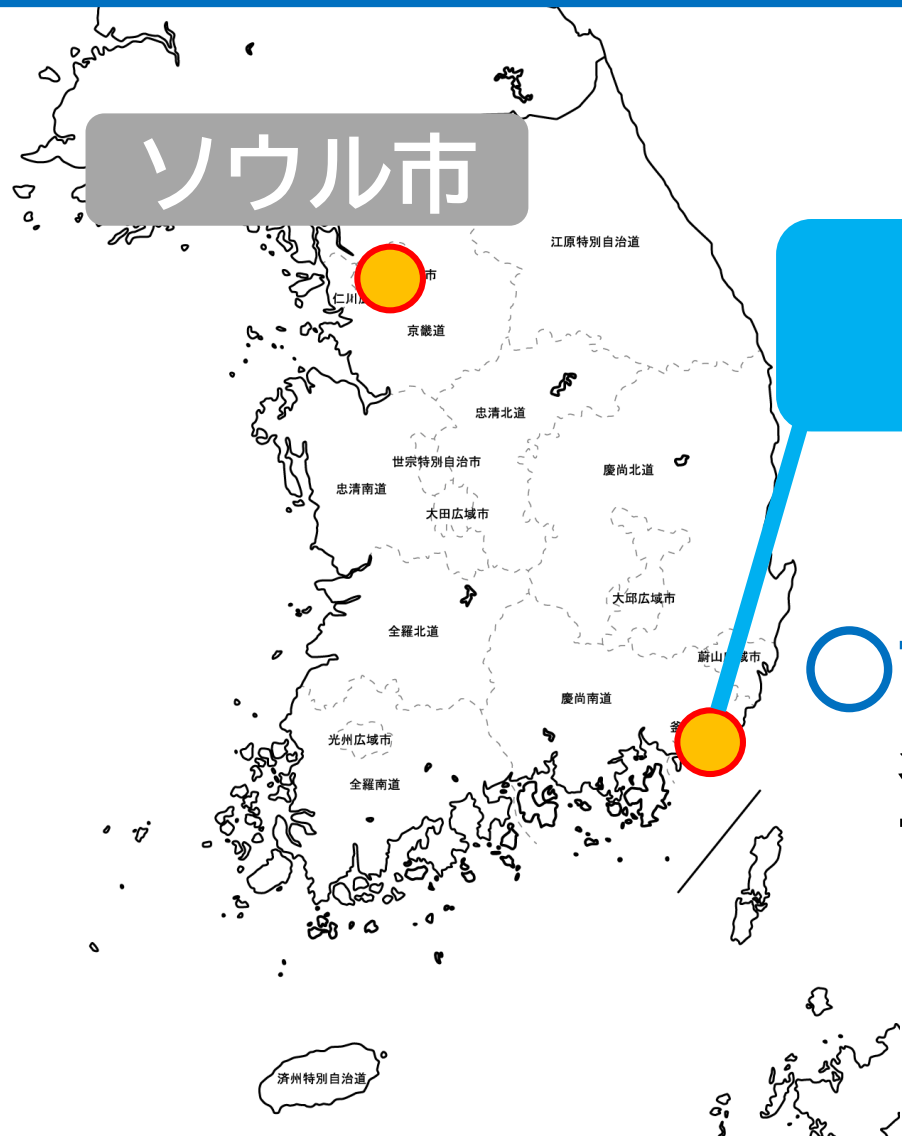
17,629TEU

(2) 港湾視察（釜山港）

○ 目的

年間2,000万TEUを超えるコンテナ取扱量を誇る世界有数のハブ港(2022年:世界第7位)である釜山港の視察を実施し、今後の八戸港における貿易振興に向けた情報収集を行う。

(2) 港湾視察（釜山港）



ソウル市

釜山市

○訪問先
釜山港、釜山港湾公社

■ 行程

1/17(水)
(ソウル市内)

1/17(水)
船会社訪問

1/18(金)ソウル→八戸

1/16(火)
(釜山→ソウル)

1/16(火)
釜山港視察・釜山港湾公社等訪問

1/15(月)
八戸→釜山

